生徒と保護者のための
週刊
かわら版

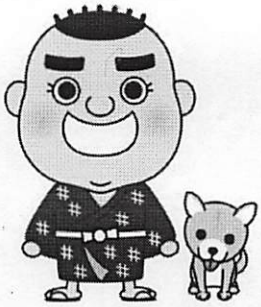
保護者会総会よろしくお願いします

あすは保護者会総会です。先日、ご案内のプリントは配付済ですが、確認の意味でお知らせいたします。

日時　5月12日（土）
受付　各教室にて
　8時30分～9時
学級保護者会
　9時～9時40分
（面談希望あれば）
　～10時25分まで
委員会マルチメディアホール
　9時45分～10時25分
総　会・体育館
　10時30分～12時

なお駐車場は，創価学会様（産業道路沿い）の駐車場をお借りしています。駐車場と学校間はスクールバスがピストン運行いたします。恐れ入りますが創価学会正門側（産業道路側）からの入場は堅くご遠慮願います。

お忙しいとは思いますが、年に一度の総会です。また同じ学級の保護者の方々が顔をそろえる滅多にない機会です。よろしくご参加をお願いいたします。



西郷隆盛

チャレンジ・ボード　情報

○鹿児島創志塾
締め切り5月31日（木）
○高校生クイズ
（日本テレビ）
5月28日（月）エントリー
開始・番組ＨＰで
○平和の花束２０１８
平和へのメッセージ募集
締め切り6月30日（土）
○鹿児島の教育県民週間
ポスター原画・標語
締め切り7月6日（金）
○小さな親切作文
コンクール
締め切り7月18日（水）
○明るい選挙啓発
ポスターコンクール
締め切り9月7日（金）
○高校生ビジネス
グランプリ
（日本政策金融公庫）
締め切り9月14日（金）
○マイクロ・ロボコン
高校生大会
締め切り10月31日（水）

公務員模試

ＫＢＣＣ教材公務員模試
実施日　5月18日（金）
申し込み　5月14日（月）

資格試験情報

○色彩検定
締め切り5月14日（月）
○パソコン利用技術検定
締め切り5月18日（金）
○ＣＧ・ＡＲＴＳ検定
締め切り5月18日（金）

留学生の受け入れのお願い

米国高校生ホームステイを受け入れていただけるご家庭を探しています。
ホームステイ期間
　7月10日(火)～17日(火)
特別なおもてなしは必要ありません。日常の日本のご家庭の雰囲気を味わってもらうこと、それが一番留学生にとっては貴重なことです。
受付の締め切り5月15日
詳細については永山先生まで
（8階職員室）

先見コーナー

5/12(土)○保護者会総会（本校）　○第１回留学説明会
5/14(月)○全校朝会（総体壮行会）○Ｑ－Ｕテスト（全学年）

> ＱＵテストは学級集団の中での困り度，いごこちなどについて書いてもらうアンケートみたいなものです。

5/15(火)○中間考査（予備日）⇒考査の時間割に入りきれない学科・クラスなどのためにあります。　ＳＢは16：45
5/16(水)○中間考査　　ＳＢ12:25発
5/17(木)○中間考査　　ＳＢ12:25発
5/18(金)○中間考査　○生徒会総会（4限）　SB13：30発
　○３年医療福祉科介護実習（校内指導）
5/21(月)○全校朝会　（教育実習生の紹介）
　○教育実習（～6/1）
5/22(火)○第３回情報祭実行委員会　○学科朝会（情報シス）
5/23(水)○学科朝会（特進）
5/24(木)○学科朝会（メカ）
5/25(金)○３年医療福祉科介護実習（校内指導）
　○３年進路ガイダンス（専門系５・６限目）
5/26(土)○土曜補習（普通系・特進）
5/28(月)○成績伝票提出　○学科朝会（普通）

> この日に教科担任から各担任にテストの結果や学期の成績が伝票として手渡されます。遅くても前日までに全ての宿題やレポートやノートの提出が済んでいなければ平常点に加味されません。

5/29(火)○情報祭委員会（模擬店）
5/30(水)○歯科検診（３～６限目）３年生　○選挙管理委員会
5/31(木)○歯科検診（３～６限目）２年生
6/01(金)○歯科検診（３～６限目）１年生
　○３年医療福祉科介護実習（校内指導）
6/02(土)○１・２年土曜補習（普通系・特進）
　○ものづくりコンテスト鹿児島大会

次のかわら版第6号は5月18日（金）に発行予定です。

清流

ＮＨＫ大河ドラマ「西郷どん」の放映と「明治維新百五十年」で鹿児島の観光地は例年の2倍近くの観光客で賑わっている。鹿児島に住んでいても知らなかった景勝地がこんなにもあるのかと気づかされてもいる。また、ブームに乗って最近、幕末から明治にかけての世の中の動き、またその裏話などに興味を抱いている▼慶長の役から帰った島津義弘公は、薩摩から高野山まで琉球石を運び「高麗陣敵味方戦死者供養碑」を建てた。また、島津忠良（日新公）のいろは歌には「回向(えこう)には我と人とを隔つなよ　看経はよし　してもせずとも」とある。「人として、読経などすることはないが、敵味方関係なく等しく供養すること」をこの薩摩は先人の教えとして大切にしてきた▼さらに、肉親、竹馬の友が、たもとを分かち、悲劇的な戦いを繰り広げるに至った西南戦争では、「敵味方関係なく、救護をする」ことを目的にし、「博愛社」が設立された。そして、義弘公が建てた高野山の碑が後ろ盾となり、国際赤十字社に加盟を許され、「博愛社」から「日本赤十字社」になる。「人道博愛」の精神を古くから受け継いできた薩摩の精神を大切にしたい。今月は赤十字月間である。